

2007年3月

---

# W-Win PLAN

---

～2007年度-2009年度 新中期経営計画～



広栄化学工業株式会社

KOEI CHEMICAL COMPANY, LIMITED

## 【目次】

[2004-2006中期経営計画のまとめ](#) [p3](#)

[新中期経営計画の位置づけ](#) [p4](#)

[新中期経営計画の基本方針](#) [p5](#)

[キャッチフレーズ](#) [p6](#)

[「持続的成長と構造改革」達成の「鍵」](#) [p7](#)

[コアテクノロジー](#) [p8](#)

※リンク：[technology !index 2007](#)へ

(別のPDFファイルが開きます)

[新中期経営計画の数値目標](#) [p9](#)

## 【参考資料】

[指標グラフ1（売上高・経常利益）](#) [p10](#)

[指標グラフ2（総資産・棚卸資産・ROA）](#) [p11](#)

[2004-2006中期経営計画トピックス](#) [p12~p18](#)

## 2004～2006年中期経営計画のまとめ

原燃料の高騰という強い逆風があったものの、  
諸般の取組でほぼ当初の目標を達成

	2006年度当初目標	2006年度実績見込
売上高（連結）	240億円	238億円
新製品売上高	30億円	27億円
経常利益（連結）	14億円	12億円
改善・合理化	30億円	36億円

# 2007年～2009年新中期経営計画の位置づけ

## Hop

「収益構造改革計画」  
(2001年～2003年)

～苦難・リストラの時代～

## Step

「中期経営計画」  
(2004年～2006年)

～持続的成長を可能とする  
基盤固めの時代～

→ 「一人前」の企業に

## Jump!

「新中期経営計画」  
(2007年～2009年)

～構造改革と  
成長拡大の時代～

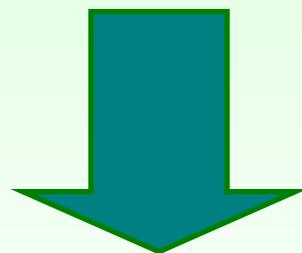
→ 「優良企業」への飛躍

# W-Win PLAN

「持続的成長」×「構造改革」

+

「顧客満足」×「従業員満足」



注目される**高付加価値企業**

新生 **KOEI** の誕生

# ～明日のケミカルを信頼とこだわりの技術で創造～

## 活力ある企業風土づくり

- ★コミットメントを必ず達成する企業風土の定着

## 顧客の信頼づくり

- ★全社一丸となった顧客重視の対応

かがく

キラリとかがやく”化薬”でつくる、もの・人・夢

- ★従来のコアテクノロジーの確かな伝承と新しいコアテクノロジーの確立

## 高い技術づくり

- ★新しい高付加価値製品の供給

## 新たな製品づくり

- ★小回りの利く誠実な対応
- ★顧客ニーズを掴み、満足度の高い対応

## 顧客想いの人づくり

## 「持続的成長と構造改革」達成の鍵



- 含窒素化合物の**ベストソリューション**プロバイダーとして長年蓄積された高い技術力
- 新しい**コアテクノロジー**の確立と市場開拓
- 製造部門、研究部門の**千葉統合**
- 生産改革による**生産性30%アップ**
- お客様の満足を第一に考える**活力ある企業風土**

## コアテクノロジー

「含窒素化合物のソリューションプロバイダーから、  
+ $\alpha$ をつけた  
ハイブリッドケミカルメーカーへ」

90年の歴史を誇る有機合成技術の蓄積を基に新コアテクノロジーを開拓



次世代気相反応触媒



有機金属錯体



イオン性液体

※リンク：[technology !index 2007](#) へ（別のPDFファイルが開きます）

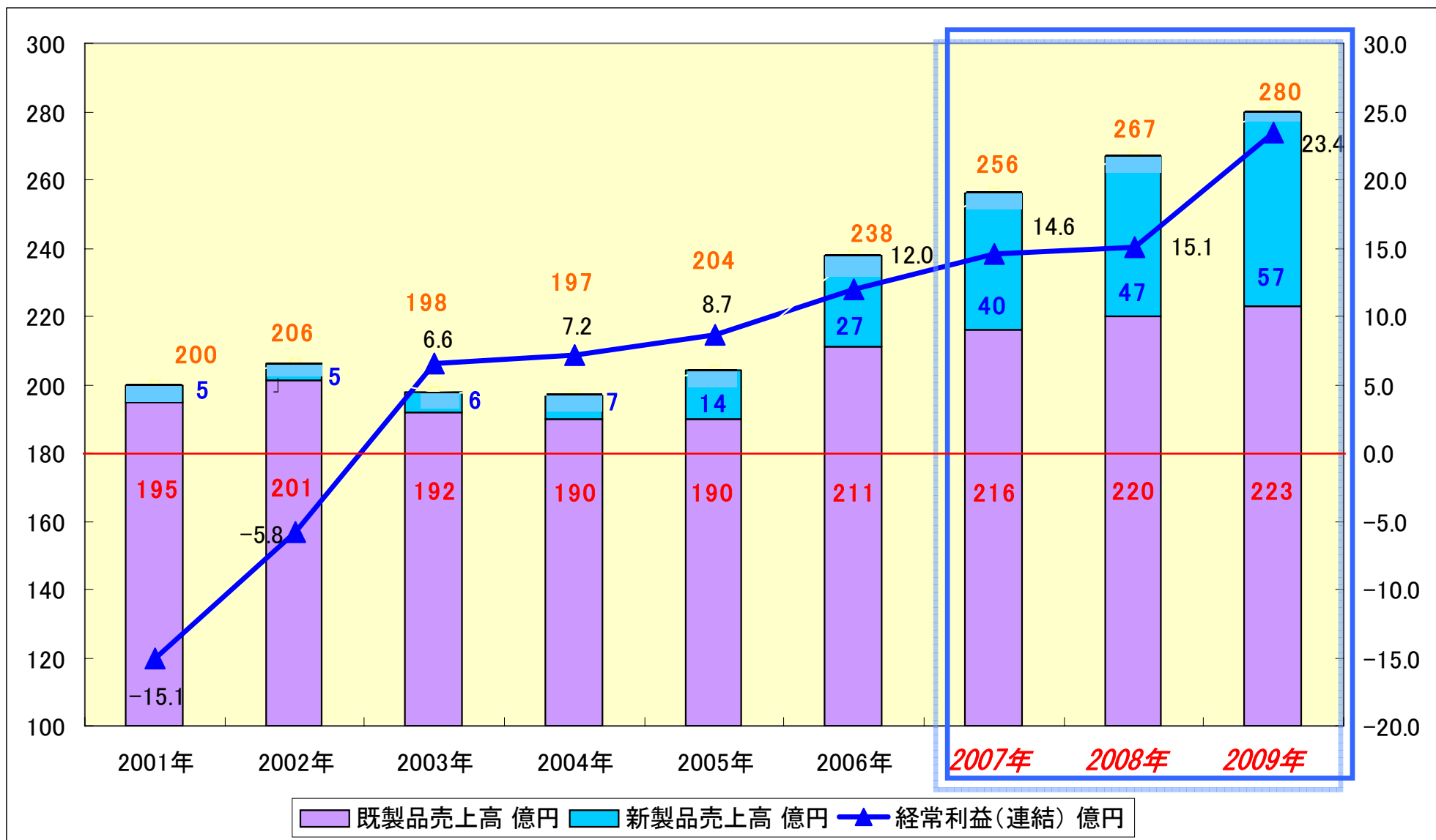
## 2007～2009年新中期経営計画の数値目標

数値目標	2007年度	2008年度	2009年度
売上高（連結）	256億円	267億円	280億円
新製品売上高	40億円	47億円	57億円
経常利益（連結）	14億円	15億円	23億円
総資産経常利益率	6%	7%	10%
ROE（自己資本利益率）	6%	6%	7%
棚卸資産保有月数	2.3ヶ月	2.1ヶ月	1.9ヶ月

# 指標グラフ1 (売上高・経常利益)

(売上：億円)

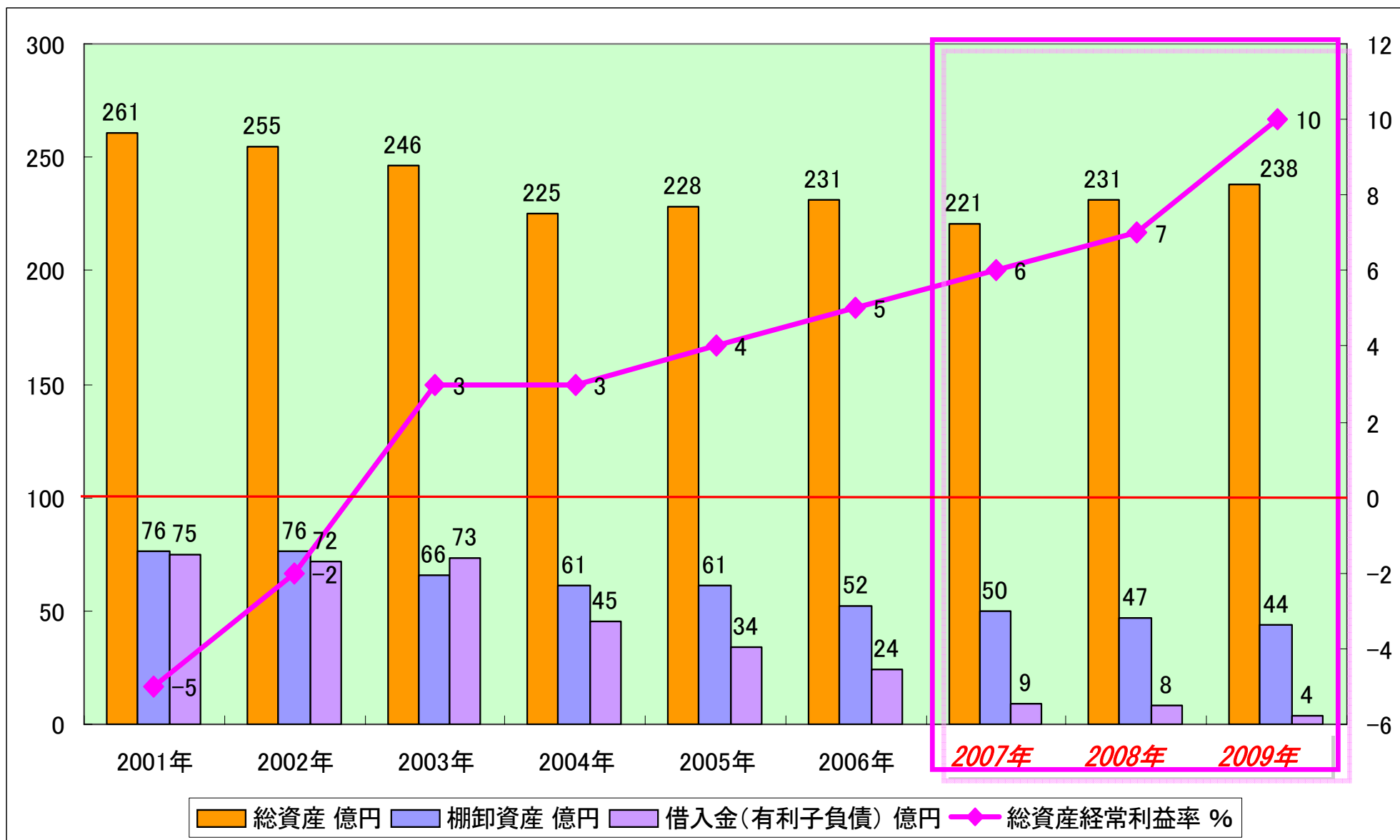
(利益：億円)



## 指標グラフ2（総資産・棚卸資産・ROA）

(億円)

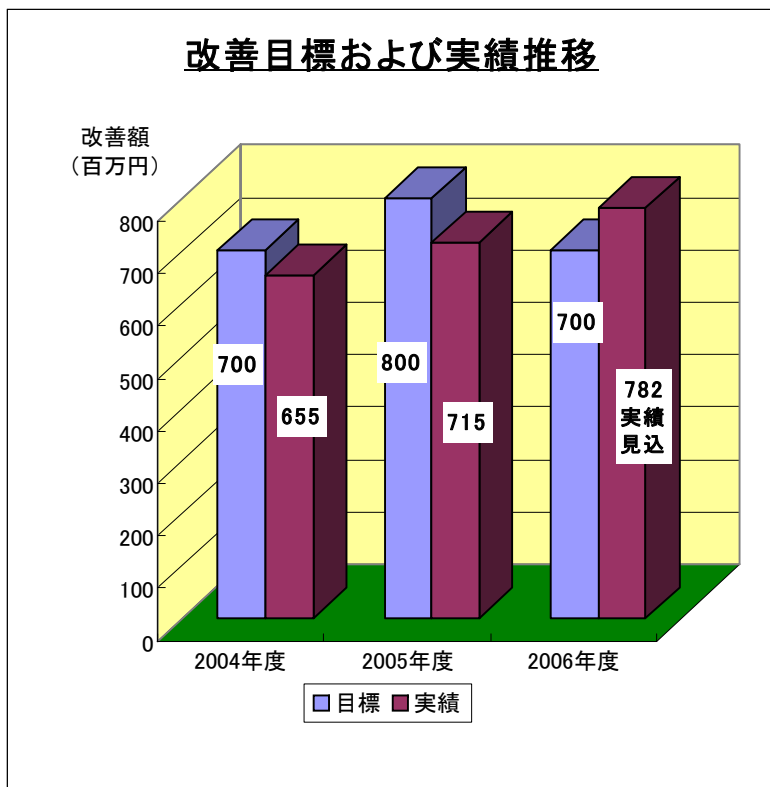
(%)



# 2004～2006年中期経営計画のトピックス

## ①プロジェクトN

### ■ 全社継続的な改善の実施



### 1. 生産性改善

#### ■ 化学メーカーにおける「トヨタ生産方式」の導入

～生産改革プロジェクトの開始～

#### ■ 試製造設備・気相設備増強

#### ■ 多目的蒸留塔新設



### 2. 省エネ対策

#### ■ パッケージボイラー設置

#### ■ コージェネ設備の設置

#### ■ 蒸留設備の高性能化

#### ■ 省力化と省電力化



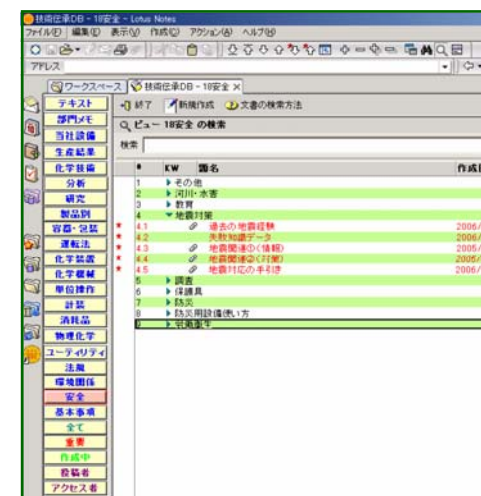
### 3. 教育改革

#### ■ 当社技術の伝承 (DB化)

#### ■ 失敗事例検討会

#### ■ 技術道場勉強会

#### ■ 失敗学勉強会



# 2004～2006年中期経営計画のトピックス

## ②プロジェクトA（グループa）

取組分野	実施内容	3年間の 累積改善額 (百万円)
輸出物流 改善	①外航運賃/保険費用の削減 本船手配、保険付保の自社処理化等を進めることで 費用の削減を実現 ②FOB費用の削減 収納検査の合理化、積地変更によるドレージ料の 削減等、諸施策を実施	293
商流改善	ストックポイントの集約・直接貿易の実施等、諸施策 を実施	276
合計		569

# 2004～2006年中期経営計画のトピックス

## ③プロジェクトA（グループb）

単位：百万円	改善対象金額 2004年実績	削減目標		削減実績および実績見込					
				2004年実績		2005年実績		2006年 実績見込	
				削減額	率	削減額	率	削減額	率
製品国内物流費	520	100	19%	45	9%	75	14%	89	17%
製造物流費	303	53	17%	35	12%	50	17%	64	21%
合計	823	153	19%	80	10%	125	15%	154	19%

### ■主要改善実施項目

①構内・構外物流費用の削減

②倉庫保管料削減

③ドラム缶本数削減

④使用済みドラム缶の処理費改善

# 2004～2006年中期経営計画のトピックス

## ④プロジェクトB

現在の「千葉」「大阪」の  
2生産拠点体制を見直して  
千葉に集約し、  
効率的な生産を図る。

本社機能を東京に集中し、  
現業支援の強化を図る。

### ■千葉・新開発プラント（2006年7月操業開始）



# 2004~2006年中期経営計画のトピックス

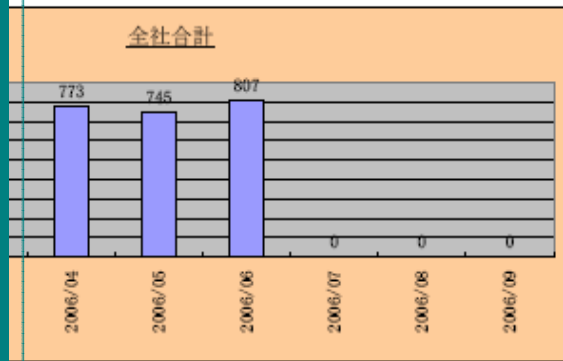
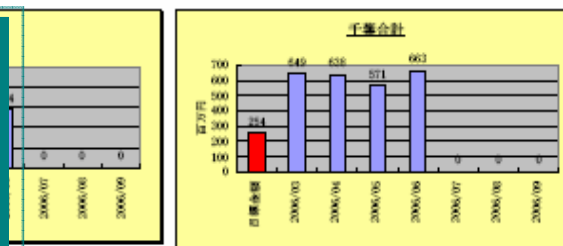
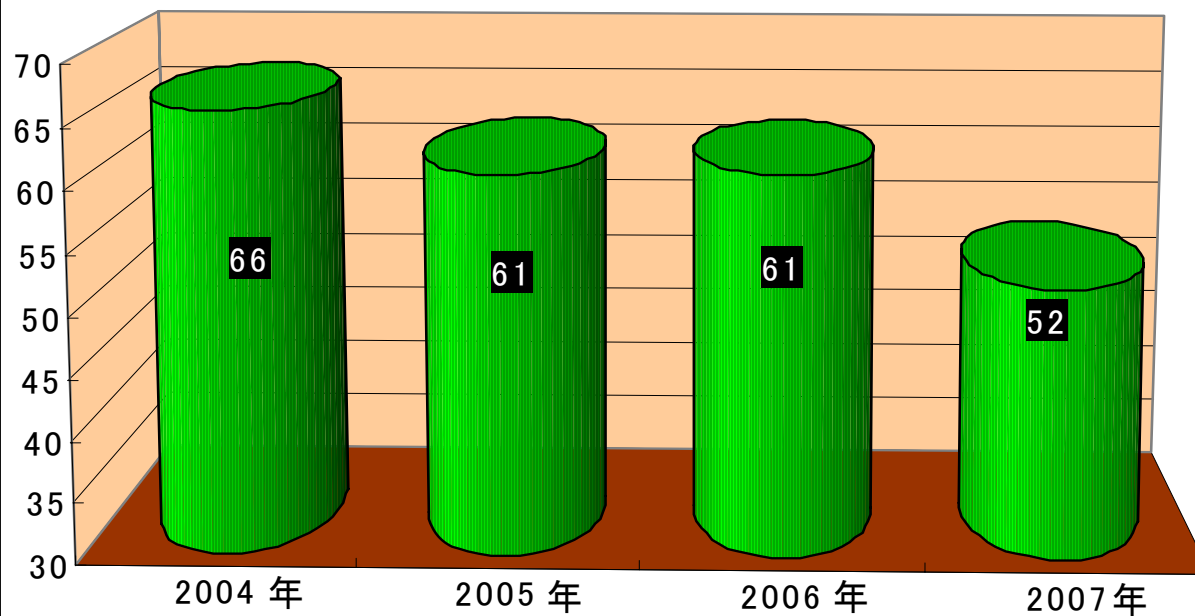
## ⑤プロジェクトC

資産収益率の向上を目的に  
在庫削減に対応する  
ビジネスモデルの構築を行う

仕掛品在庫推移(2006年上期)

工場	製造課	目標金額	2006/03	2006/04	2006/05	2006/06	2006/07	2006/08	2006/09
30 大塚	製薬 KR	6	10	5	7	7	0	0	0
	製造部 MZ	29	117	58	95	67	0	0	0
	閉鎖部門	0	0	0	0	0	0	0	0
	製薬 洗剤	26	7	7	7	5	0	0	0
	製薬 M	1	10	10	10	10	0	0	0
	製造部 MZ-Ⅱ	20	55	55	55	55	0	0	0
	医薬部 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0
研究部門	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大塚計	82	199	135	174	144	0	0	0
40 神ヶ浦	製造2課 SA	90	193	183	168	181	0	0	0
	製造3課 SF	3	2	4	4	1	0	0	0
	製造2課 CM	0	8	8	8	8	0	0	0
	製造2課 CM2	0	16	0	0	11	0	0	0
	製造3課 SP	109	332	348	326	358	0	0	0
	製造3課 CP	22	62	57	45	65	0	0	0
	業務	0	0	0	0	0	0	0	0
	生産技術 CM1	0	0	0	0	2	0	0	0
	神ヶ浦計	224	613	600	552	626	0	0	0
41 神崎	製造1課 AP	30	36	38	19	37	0	0	0
	千集合計	254	642	638	571	663	0	0	0
	全社合計	336	848	772	745	807	0	0	0

棚卸資産推移(単位:億円)



# 2004～2006年中期経営計画のトピックス

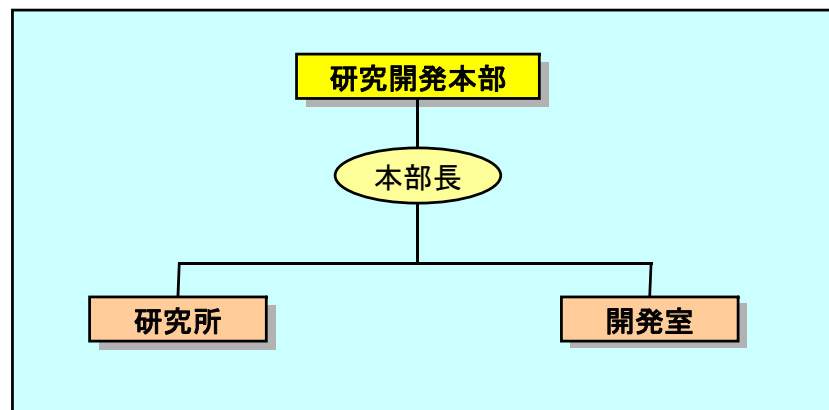
## ⑥プロジェクトD

	現在のコア技術	開発中のコア技術	中長期のテクノロジー
気相	気相流通反応	次世代気相触媒開発	気相/加圧流通反応 (触媒およびプロセス開発)
液相	高圧水素化反応 含窒素化合物の合成	有機金属・錯体製造技術 カップリング反応	酸化技術 光学活性化技術 超低温反応 高圧酸性水素化反応
機能	ホルマリン・アセト アルデヒドの活用	高純度化技術 カップリング反応 懸濁重合	有機金属化合物合成・精製



### ■メタロセン化合物の基本構造 (有機金属錯体の応用例)

M: Ti, Zr, Hf  
X: Cl 等



### ■研究開発組織体制(2007年4月現在)

